地質柱状図（No.　　）

調査件名　[illegible]

調査地点　千葉市[illegible]

水位(自然・孔内)　なし・　m

標高　[illegible]+39.86　m

調査期間　自昭和59年　4月　25日
至昭和59年　4月　27日

(註) 1．試料採取方法の記号（記号の右の数字は試料番号）
○－1　乱さない試料（T・W・S）
◉－2　貫入試験機による試料（T・P）
●－3　コアー試料
2．試料採取深度と回収比

3.20	3.20－3.70は試料採取深度（m）
45/50	45/50は回収比（50cm：貫入深さ、45cm：試料長さ）
3.70	

月日	標尺(m)	標高(m)	深度(m)	層厚(m)	地質記号	色調	地質名	観察記事	相対密度 稠度	標準貫入試験 深度(m)	打撃数 回/cm	10cm毎の打撃回数 回/10cm 10	20	30	N値(回)	採取深度(m) 不攪乱資料
	0	39.86														
		39.56	0.30	0.30		暗褐	表土	草根少量混入.								
	1							含水分小位. 腐植物少量混入. 下部に行き少量含水軟質化 全般に粘性少量含有する。	軟	1.15 1.48	4/33		2/21	2°/12		
	2								極軟	2.15 2.47	1/32			1°/12		
	3	36.16	3.70	3.40		暗灰褐	ローム		軟	3.15 3.47	4/32	1	1	2°/12		
	4							火山灰少量. 少量ずつ腐植物. 酸化鉄少量混入. 粘質分多く軟質である。	極軟	4.15 4.48	1/33			1°/12		
	5	34.76	5.10	1.40		乳黄灰	凝灰質粘土			5.15 5.52	6/37	2/13	2/12	2°/12		
	6	33.26	6.60	1.50		乳黄褐	砂質粘土	含水分中位. 細砂層状に孤状に多く腐植物少量混入。	中軟	6.15 6.45	4/30	1	2	1°		
	7						細砂	粒径揃一で中粒砂少量混入. 含水分小位. 酸化鉄及び腐植物. 雲母少量混入 10.80m付近粒度揃に多く下部につれ更に細し 11.00m以深粒径小量混入.	密	7.15 7.45	36/30	8	11	17°		
	8								中	8.15 8.45	26/30	7	9	10°		
	9									9.15 9.45	25/30	6	8	11°		
	10								中	10.15 10.45	29/30	7	8	14°		
	11	20.16	11.70			暗黄褐灰	細砂		密	11.15 11.45	37/30	9	14	14°		
	12					暗黄褐		含水分小位. 雲母少量. 炭化物粒径小量含む 15.00～15.25m間に木片を中心とする粘土及び粒径小量混入. 16.40m付近に腐植片少量混入. 粒径全体に均一で下部含水分中位となる。	極密	12.15 12.43	50/28	11	17	22°/8		
	13								極密	13.15 13.40	50/25	16	23	11°/5		
	14								密	14.15 14.45	45/30	12	14	19°		
	15								密	15.15 15.45	30/30	2	10	18°		
	16								極密	16.15 16.46	4/31	1	1/15	2°/16		
4.25	17	22.06	17.80	11.20		暗黄褐	細砂		密	17.15 17.45	39/30	7	11	21°		
	18							含水分小位. シルトポケット状に介在し. 雲母少量. 中粒砂少量混入. 粒径全体に均一である。	極密	18.15 18.36	50/21	12	32	6°/1		
	19								中	19.15 19.45	21/30	5	5	11°		
	20								極密	20.15 20.32	50/17	23	27/7			
	21	18.26	21.60	3.80		暗黄褐	シルト混り細砂		極密	21.15 21.35	50/20	17	33			
	22					暗黄褐灰	細砂	含水分中位. 粒径均一でシルト少量帯状に多く挟む. 中粒砂少量. 雲母少量混入し全般に密なる.	極密	22.15 22.29	50/14	31	19/4			
	23								極密	23.15 23.27	50/22	39	11/2			
	24								密	24.15 24.45	44/30	16	14	14°		
	25								極密	25.15 25.27	50/12	39	11/2			
	26								極密	26.15 26.30	50/15	22	28/3			
	27	12.16	27.70			暗黄褐灰			極密	27.15 27.31	50/16	20	30/6			
	28							含水分中位. シルト少量帯状に挟む. 粒径均一で雲母少量混入し全般に密なる.	極密	28.15 28.36	50/21	11	28	11°/1		
4.26	29	10.06	29.80			暗黄褐				29.15 29.33	50/18	9	41/8			
4.27	30	9.59	30.27	0.67+α		暗黄褐灰	細砂	含水分中位. 雲母少量混入.	密	30.15 30.27	50/12	39	11/2			
	31															

地質柱状図（No. 2）

調査件名 昭和59年度千葉市公営住宅 仮称鎌取団地地質調査委託

調査地点 千葉市鎌取町112番地の23

標高 T・P＋40.08 m

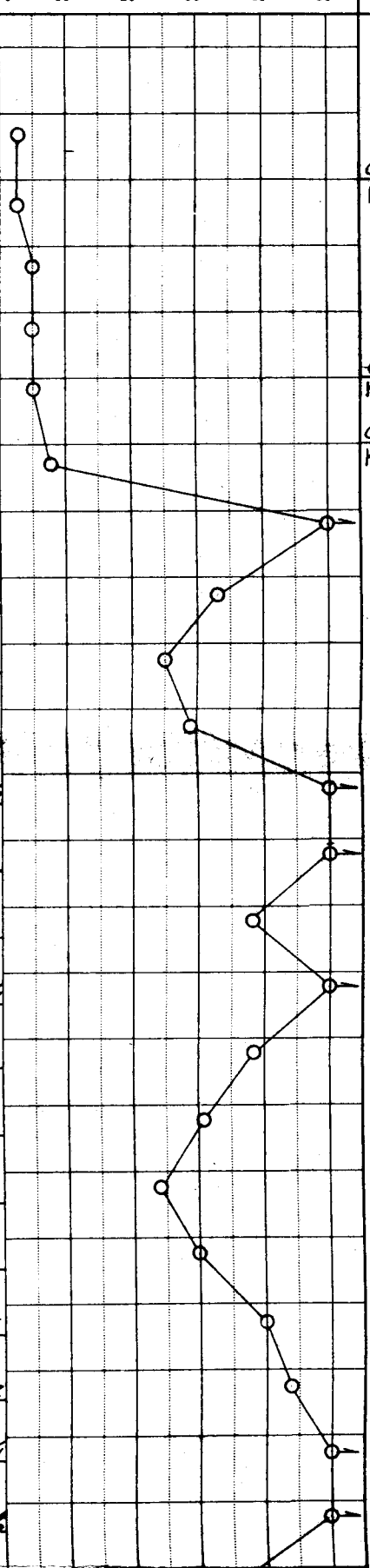
水位（自然・孔内） なし ・ m

調査期間 自 昭和59年 5月 1日 至 昭和59年 5月 4日

（註）1．試料採取方法の記号（記号の右の数字は試料番号）
- ○－1 乱さない試料（T・W・S）
- ◎－2 貫入試験機による試料（T・P）
- ●－3 コアー試料

2．試料採取深度と回収比
- 3.20 — 3.20－3.70は試料採取深度（m）
- 45/50 — 45/50は回収比（50cm：貫入深さ、45cm：試料長さ）
- 3.70

月日	標尺(m)	標高(m)	深度(m)	層厚(m)	地質記号	色調	地質名	観察記事	相対密度 稠度	標準貫入試験 深度(m)	打撃数 回/cm	10cm毎の打撃回数 回/10cm 10	20	30	N値（回）	採取深度(m) 不攪乱資料
	0	40.08														
		39.68	0.40	0.40		暗褐	表土	草根ヲ多く混入.								
	1							含水分中位. 腐植物多く混入. 中層部が深 5分位位置. 下部粘質分 生砂少量含む.	軟	1.15 1.47	3/31		1/17	2°/15		
	2								軟	2.15 2.51	3/36		1/20	2°/16		GL-2.00m K値測定
	3	36.18	3.90	3.50		暗茶褐	ローム		中	3.15 3.45	5/30	1	1/9	3°/11		
	4							知の軽灰に変色し粘土質分大で火山灰分を含むが火山砂分を混入. 含水分小位である.	中	4.15 4.45	5/30	1	2/12	2°/8		
5.1	5	34.28	5.80	1.90		黄褐	凝灰質粘土		中	4.95 5.26	5/31	2/14	1/6	2/11		GL-5.00m K値測定
	6	33.38	6.70	0.90		黄褐	粘土混り細砂	粘土ポケット状に少量採く 酸化鉄分及び雲母少量混入.	緩	6.15 6.45	8/30	2	3	3		GL-6.00m K値測定
	7							粒子均一で黒灰の酸化物及び雲母少量混入している。	極密	7.15 7.43	50/28	10	25	15°/8		
	8	31.93	8.15	1.45		暗茶褐	細砂			8.15 8.45	33/30	9	15	19		
	9							含水分中位 シルトポケット状に少数採く 雲母及び 腐植物少量混入 粒子均一で下部につれ密度	密	9.15 9.45	25/30	6	9	10		
	10								中	10.15 10.46	29/30	7	10	12		
	11								極密	11.15 11.44	50/29	8	18	24°/9		
	12	28.08	12.00			淡黄褐		13.05～13.10mにシルト層状に採る. 粒子均一で雲母少量混入している。	極密	12.15 12.45	50/30	12	17	21		
	13	26.38	13.70	1.55		暗黄褐	細砂		密	13.15 13.45	38/30	3	13	22		
	14							径0.2～3mm大の小礫及び粗粒砂少量混入し全般に密。	極密	14.15 14.43	50/28	15	17	18°/8		
	15	24.28	15.80	2.10		暗黄褐	中砂		密	15.15 15.45	38/30	10	15	13		
	16					暗黄褐灰	シルト混り細砂		密	16.15 16.45	31/30	12	11	8		
5.3	17								中	17.15 17.45	24/30	6	7	9		
	18							含水分小位. シルトポケット状に少量採く 雲母及び中粒砂微量混入. 粒子均一で下位に多粒子につれ密度	密	18.15 18.45	30/30	6	7	17		
	19								密	19.15 19.45	40/30	10	15	15		
	20								極密	20.15 20.45	44/30	9	13	22		
	21								極密	21.15 21.36	50/21	16	29	5°/1		
	22								極密	22.15 22.41	50/26	21	19	10°/6		
	23	16.98	23.10	7.30		暗黄褐灰	シルト混り細砂		密	23.15 23.45	35/30	9	15	11		
	24							含水分小位. 上部及び28.25にシルト層状に微少採く 粒子均一で雲母少量混入し全般に密。	極密	24.15 24.38	50/23	14	26	10°/3		
	25								極密	25.15 25.29	50/14	23	27/4			
	26								極密	26.15 26.24	50/9	50/9				
	27								極密	27.15 27.20	50/10	50				
	28								極密	28.15 28.45	50/30	10	16	24		
5.4	29	10.77	29.31	6.21+α		暗黄褐	細砂		極密	29.15 29.31	50/16	20	30/6			
	30															
	31															



地質柱状図（No 3）

調査件名 昭和59年度千葉市公営住宅仮称鎌取団地地質調査委託

調査地点 千葉市鎌取町112番地の23

標高 T・P＋40.07 m

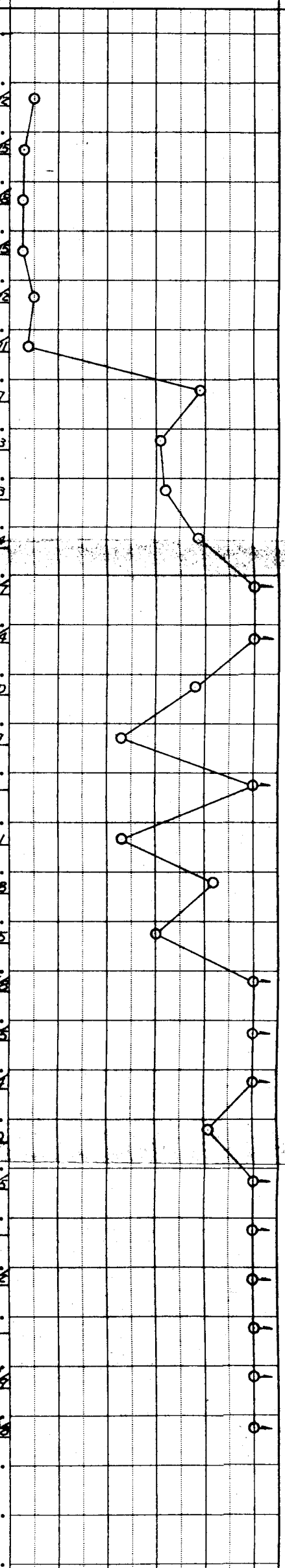
水位（自然・孔内） なし ・ m

調査期間 自昭和59年 4月 27日 至昭和59年 5月 7日

（註）1．試料採取方法の記号（記号の右の数字は試料番号）
- ○－1 乱さない試料（T・W・S）
- ◎－2 貫入試験機による試料（T・P）
- ●－3 コアー試料

2．試料採取深度と回収比
- 3.20 ／ 45/50 ／ 3.70
- 3.20－3.70は試料採取深度（m）
- 45/50 は回収比（50cm：貫入深さ、45cm：試料長さ）

月日	標尺(m)	標高(m)	深度(m)	層厚(m)	地質記号	色調	地質名	観察記事	相対密度 稠度	標準貫入試験 深度(m)	打撃数 回/cm	10cm毎の打撃回数 回/10cm 10	20	30	N値（回）	採取深度 不攪乱資料(m)
	0	40.07 / 39.87	0.20	0.20		暗黄褐	表土	草根少量混入。								
	1							含水分中位。 腐植物少量混入 下部にかけ粘土質、含水 少量時につれ含水分、粘土分 共に多く軟質傾向。	中 軟 軟	1.15 / 1.47	5/32	2/12	1/8	2°/12		
	2									2.15 / 2.47	3/32		1/17	2°/15		
	3	36.37	3.70	3.50		暗黄褐	ローム			3.15 / 3.48	3/33		1/15	2°/18		
	4	35.57	4.50			乳灰		火山灰少量、冷えた少量混入 腐植物多し、軟質である。	軟	4.15 / 4.50	3/35		1/20	2°/15		
	5	34.57	5.50			乳黄褐		火山灰少量、冷えた火山礫化砂 少量混入し、粘土質の大である。	中	5.15 / 5.47	5/32	1	2	2°/12		
	6	33.27	6.80	3.10		乳黄灰	凝灰質粘土	火山灰少量、冷えた火山礫少量混入、粘土質の大で又一部黄褐色を帯。	軟	6.15 / 6.46	4/31	1/12	1/8	2°/11		
	7					暗黄褐	細砂		密	7.15 / 7.45	39/30	9	13	17		
	8							含水分中位。 粒径均一で雲母少量。 腐植物微量混入		8.15 / 8.45	31/30	7	11	13		
	9									9.15 / 9.45	32/30	8	11	13		
	10							全般に[illegible]傾向すると共に一部更に[illegible]。	密	10.15 / 10.45	39/30	11	14	14		
4.27	11								極密	11.15 / 11.42	50/27	14	20	16°/7		
	12								極密	12.15 / 12.39	50/24	13	24	13°/4		
	13	26.37	13.70	6.90		暗黄褐	細砂	13.00m付近黄褐に黄色帯。	密	13.15 / 13.45	38/30	15	13	10		
	14	25.47	14.60	0.90		暗黄褐	中砂	径2～3mm大の円礫及び粗粒砂少量混入、14m以深粘土少量混入。	中	14.15 / 14.45	23/30	7	7	9		
	15							含水分中位。 粒径均一で雲母少量 混入し 17.00m以深シルトポケット状 に少量挟在する。	極密 中	15.15 / 15.34	50/19	16	34/9			
	16									16.15 / 16.45	23/30	7	5	11		
	17								密	17.15 / 17.45	42/30	9	15	18		
	18	22.17	17.90	3.30		暗黄褐灰	細砂			18.15 / 18.45	30/30	5	10	15		
	19							シルトポケット状に少量挟み 上部に腐植物及び雲母少量 混入。粒径均一で全般に 暗黄褐に変色し密である。	密 極密	19.15 / 19.43	50/28	11	15	24°/8		
	20	19.57	20.50	2.60		暗黄褐灰	シルト混り細砂		極密	20.15 / 20.40	50/25	12	17	21°/5		
	21					暗黄褐	細砂		極密	21.15 / 21.39	50/24	20	20	10°/4		
	22								密	22.15 / 22.45	41/30	18	13	10		
	23							含水分中位。 シルト又は薄層状に少量 挟む。 雲母少量、中粒砂少量 混入 23.00m以深粒径均一 と成り全般に密である。	極密	23.15 / 23.40	50/25	11	23	16°/5		
4.28	24									24.15 / 24.35	50/18	19	31/8			
	25								極密	25.15 / 25.37	50/22	17	24	9°/2		
	26									26.15 / 26.32	50/17	22	28/11			
	27									27.15 / 27.44	50/29	12	19	19°/4		
5.1	28	11.64	28.43	7.93+α		暗黄褐	細砂		極密	28.15 / 28.43	50/28	9	18	25°/8		
	29															
	30															
	31															



地質柱状図（No. 4）

調査件名 昭和59年度千葉市公営住宅 仮称鎌取団地地質調査委託

調査地点 千葉市鎌取町112番地の23

標高 T.P＋39.95 m

水位（自然・孔内） なし ・ m

調査期間 自昭和59年 4月 30日 至昭和59年 5月 1日

（註）1．試料採取方法の記号（記号の右の数字は試料番号）
- ○－1 乱さない試料（T・W・S）
- ◎－2 貫入試験機による試料（T・P）
- ●－3 コアー試料

2．試料採取深度と回収比
- 3.20 / 45/50 / 3.70：3.20－3.70は試料採取深度（m）
- 45/50は回収比（50cm：貫入深さ、45cm：試料長さ）

月日	標尺(m)	標高(m)	深度(m)	層厚(m)	地質記号	色調	地質名	観察記事	相対密度 稠度	標準貫入試験 深度(m)	打撃数 回/cm	10cm毎の打撃回数 回/10cm 10	20	30	N値(回)	採取深度 不撹乱資料(m)
	0	39.95														
		39.35	0.60	0.60		暗褐	表土	草根が多い。								
	1							含水分小位、腐植物が混入。均質なローム。下部に粘質分が多く含む。	極軟	1.15 1.46	2/31		1/20	1*/11		
	2								軟	2.15 2.47	4/32	1/16	1/5	2*/11		
	3	36.35	3.60	3.00		暗茶褐	ローム		極軟	3.15 3.47	2/32		1/17	1*/15		
	4							火山灰多く、腐植物が混入の粘質分多く軟質である。	極軟	4.15 4.49	2/34		1/22	1*/12		
	5	34.65	5.30			乳灰				5.15 5.50	5/35	1/11	1/12	1*/13		
	6	33.65	6.30	2.70		黄褐	凝灰質粘土	火山灰多く、腐植物が混入。火山ガラスが多く含み、粘質が大である。	中硬	6.15 6.45	10/30	1/8	3/12	6*		
	7						細砂	上部にシルトポケット状に多く挟む。黒褐の酸化鉄が重鉱物が混入。	密	7.15 7.45	39/30	12	12	15*		
	8	31.85	8.10			暗茶褐			中	8.15 8.45	27/30	7	9	11*		
	9					暗黄褐		腐植物が重鉱物が混入。粒径は均一で中粒のポケット状に偏在。含水は全般に深度につれ増す。	中	9.15 9.45	24/30	5	8	11*		
	10								密	10.15 10.45	33/30	8	12	13*		
	11									11.15 11.45	35/30	7	12	16*		
	12									12.15 12.45	49/30	10	16	23*		
	13								密	13.15 13.45	40/30	8	15	17*		
	14	26.05	13.90			暗黄褐		重鉱物が混入し、全般に硬い。全体2～5mm前後の小石状偏在。16.25～16.35mに黒褐に多く混入。粒径は均一である。	極密	14.15 14.40	50/25	11	21	18*/5		
	15								極密	15.15 15.45	50/30	8	4	28*		
	16	23.25	16.70	10.40		暗黄褐灰	細砂		密	16.15 16.45	41/30	7	15	19*		
	17					暗黄褐	シルト混り細砂	上部に黒褐に多く混入。含水分小位。	中	17.15 17.45	28/30	5	10	13*		
4.30	18								中	18.15 18.45	26/30	5	8	13*		
	19							シルトポケット状に多く挟む。粒径は均一で重鉱物が中粒のみ微量混入し下位に移行するにつれ増す。	極密	19.15 19.45	50/30	13	19	18*		
	20									20.15 20.39	50/24	16	20	16*/26		
	21									21.15 21.40	50/25	13	22	15*/5		
	22	17.25	22.60	6.90		暗黄褐	シルト混り細砂		極密	22.15 22.43	50/28	16	18	16*/8		
	23							含水分小位。粒径は均一で重鉱物が混入し、全般に硬い。	極密	23.15 23.41	50/26	9	19	22*/6		
5.1	24	15.60	24.35	1.75以上		暗黄褐	細砂			24.15 24.35	50/20	16	34	*		
	25													*		
	26													*		
	27													*		
	28													*		
	29													*		
	30													*		

調査件名　昭和59年度千葉市公営住宅仮称鎌取団地地質調査委託

地質柱状図（No 5）

調査地点　千葉市鎌取町112番地の23

標高　T・P＋39.75 m

水位（自然・孔内）　なし・　m

調査期間　自昭和59年 4月 30日　至昭和59年 5月 3日

（註）1．試料採取方法の記号（記号の右の数字は試料番号）
○－1　乱さない試料（T・W・S）
◉－2　貫入試験機による試料（T・P）
●－3　コアー試料
2．試料採取深度と回収比
3.20 / 45/50 / 3.70　3.20－3.70は試料採取深度（m）
45/50は回収比（50cm：貫入深さ、45cm：試料長さ）

月日	標尺(m)	標高(m)	深度(m)	層厚(m)	地質記号	色調	地質名	観察記事	相対密度 稠度	標準貫入試験 深度(m)	打撃数 回/cm	10cm毎の打撃回数 回/10cm 10	20	30	N値（回）	採取深度(m) 不攪乱資料
	0	39.75														
		39.15	0.60	0.60		暗褐	表土	ロール状に草根が多く混入。								
	1							含水分中位。腐植物が混入。 3.00m下位より含水分多く粘質多く含む。	軟	1.15 1.53	3/38	1	1	1		
	2									2.15 2.45	4/30	1	1	2		GL-2.00m K値測定
	3	36.15	3.60	3.00		暗茶褐	ローム		軟	3.15 3.51	3/36	1	1	1		
	4							含水分多く粘質の大火山灰質シルト、軟弱な火山砂が混入し乱れ茶褐～茶褐に着色。	軟	4.15 4.45	4/30	1	1	2		GL-4.00m K値測定
4.30	5								中	5.00 5.31	5/31	1	2	2		GL-5.50m K値測定
	6	33.65	6.10	2.50		乳黄灰	凝灰質粘土			6.15 6.45	10/30	2	3	5		
		33.00	6.75	0.65		淡黄褐	粘土混り細砂	粘土がポケット状に極少。6.20m以深粘質分多し。	中							
	7						細砂	含水分小位 粘土質一で雲母化鉱物が雲母が混入し締る。 腐植物・炭化物含む。	極密	7.15 7.42	50/27	12	21	17/7		
	8									8.15 8.45	41/30	10	14	17		
	9	30.65	9.10			暗茶褐				9.15 9.45	30/30	8	11	11		
	10					暗黄褐			密	10.15 10.45	32/30	9	10	13		
	11							12.00m以浅小礫が増加し1～5%が11.10～11.90m中粒砂が混入。 13.40～14.50m付近小礫が増加し3～5%が混入。 含水分中位。 粘土質一で雲母が混入し全般に締る。	極密	11.15 11.45	32/30	9	10	13		
	12								極密	12.15 12.39	50/24	16	24	10/4		
	13								極密	13.15 13.45	41/30	9	14	18		
	14								極密	14.15 14.41	50/26	14	21	15/6		
5.1	15								極密	15.15 15.32	50/17	27	23/7			
	16								極密	16.15 16.45	48/30	12	15	21		
	17	22.65	17.10	10.35		暗茶褐	細砂		中	17.15 17.45	17/30	3	6	8		
	18								密	18.15 18.45	36/30	6	12	18		
	19							シルトがポケット状に少量採メ17.80m中位より東部に少量混入。 含水分中位 20.00m以深中粒砂が多量含む 粘土質一で雲母が混入し下位に軟弱な層がつみ重る。	極密	19.15 19.45	41/30	9	15	17		
	20								極密	20.15 20.39	50/24	14	24	12/4		
	21								極密	21.15 21.38	50/23	14	25	11/3		
	22	17.55	22.20	5.10		暗茶褐	シルト混り細砂		極密	22.15 22.38	50/23	15	22	13/3		
	23							含水分中位、粘土質一で雲母が混入し全般に締る。	極密	23.15 23.38	50/23	12	21	17/3		
	24								極密	24.15 24.36	50/21	19	28	3/1		
5.2	25	14.39	25.36	3.16+α		暗茶褐	細砂		極密	25.15 25.36	50/21	20	26	4/1		
	26															
	27															
	28															
	29															
	30															

地質柱状図（No 6）

調査件名 昭和59年度千葉市公営住宅 仮称鎌取団地地質調査委託

調査地点 千葉市鎌取町112番地の23

標高 T・P＋39・29 m

水位（自然・孔内） なし ・ m

調査期間 自 昭和59年 4月 26日 至 昭和59年 4月 28日

（註）1．試料採取方法の記号（記号の右の数字は試料番号）
- ○－1 乱さない試料（T・W・S）
- ◎－2 貫入試験機による試料（T・P）
- ●－3 コアー試料

2．試料採取深度と回収比
- 3.20 － 3.70は試料採取深度（m）
- 45/50 は回収比（50cm：貫入深さ、45cm：試料長さ）

月日	標尺(m)	標高(m)	深度(m)	層厚(m)	地質記号	色調	地質名	観察記事	相対密度	標準貫入試験 深度(m)	打撃数 回/cm	10cm毎の打撃回数 回/10cm 10	20	30	N値（回）	採取深度 不攪乱資料(m)
	0	39.29														
		38.89	0.40	0.40		暗褐	表土	草根多混入.								
	1							含水分中位. 腐植物微量混入 均質なローム で粘質分多含む. 処々中位である.	軟	1.15 1.46	4/31	1/11	1	2		
	2									2.15 2.46	3/31	1/12	1/9	1		
	3	35.59	3.70	3.00		暗茶褐	ローム		軟	3.15 3.47	3/32	1/12	1/13	1/7		
	4							火山灰質. 多く混入. 粘着力大で 酸化鉄 処々 微量混入. 5.00m以深 多く混入	中	4.15 4.46	5/31	1/9	3/12	2/10		
	5	33.44	5.05	2.15		乳黄灰	凝灰質粘土		中	5.15 5.45	5/32	1/8	2/13	2/9		
	6							シルト層状に多く混入 雲母多く混入 粒径均一で 7.00m付近 酸化鉄多く混入.	中	6.15 6.45	12/30	2	4	6		
	7	31.89	7.40	1.55		暗茶褐	シルト混り細砂			7.15 7.45	36/30	10	13	13		
	8	30.89	8.45			暗黄褐灰	細砂	含水分中位. 雲母多く混入 黒灰色粒 多く1～3mm厚で挟む.	密 中	8.15 8.45	25/30	7	8	10		
	9							雲母及び 11.00m付近 多く混入. 含水分中位. 10.00m以深 粒径均一と成り 全般に密. 12.20m付近 径3～6mm大の 小円礫多く混入.	密 密 中 密	9.15 9.45	30/30	8	10	12		
	10									10.15 10.45	32/30	8	11	13		
	11									11.15 11.45	27/30	6	9	12		
	12	26.69	12.60	5.20		暗黄褐	細砂			12.15 12.45	36/30	9	12	15		
	13	25.89	13.40	0.80		暗黄褐	中砂	含水分多く. 雲母多く 径3～6mm大の小円礫微量混入し密.	密	13.15 13.45	36/30	10	10	16		
	14						細砂	14.30m付近 円礫径3～5mm微量混入. 含水分中位. 15.00m以深 粒径均一と成り 全般に密. 16.00m付近以深 シルト微量 帯状に挟む.	極密 極密 中 密	14.15 14.45	50/30	12	16	22		
	15									15.15 15.39	50/19	17	33/9			
	16									16.15 16.45	29/30	9	10	10		
	17	22.49	17.80			暗黄褐				17.15 17.45	43/30	8	14	21		
	18	20.89	18.40			暗黄褐灰	細砂	粘土状に多く混入.	中	18.15 18.45	25/30	6	9	10		
	19					暗黄褐		19.00m付近 粘土 シルトポケット状に多く挟む. 含水分中位. 20.00m以深 中粒砂 微量混入. 粒径均一で 雲母多く混入し 全般に密なる.	密 極密 極密 極密	19.15 19.45	46/30	10	15	21		
	20									20.15 20.39	50/24	18	21	11/4		
	21									21.15 21.39	50/24	11	22	17/4		
	22									22.15 22.37	50/22	15	26	9/2		
	23									23.15 23.42	50/27	12	20	18/7		
	24									24.15 24.44	50/29	12	15	23/9		
	25	14.90	25.39	11.99+α		暗黄褐	細砂			25.15 25.39	50/24	14	26	11/4		
	26															
	27															
	28															
	29															
	30															